

## 19. 6月に収穫できる黄肉モモ新品種「ひめこなつ」の特性

### 1. 背景とねらい

現在、県内で栽培されているモモの主要品種は、「あかつき」、「白鳳」、「清水白桃」などである。しかし、6月に収穫できる早生品種では、安定して高糖度な果実生産ができる品種がまだない。また、産地では担い手の高齢化が進んでおり、省力的に栽培でき、労力分散の図れる品種が求められている。そこで、(独)農業・食品産業技術総合研究機構果樹研究所で育成された、モモ新品種「ひめこなつ」の特性を明らかにする。

### 2. 成果の内容

- 1) 「ひめこなつ」は、系統名「筑波 118 号」として第 8 回モモ系統適応性・特性検定試験に供試され、本県も含めた各県の試験結果をもとに 2007 年に品種登録申請された。
- 2) 成熟期は、「日川白鳳」と比較し 25 日早い(表 1)。
- 3) 成熟すると果皮は紅色に着色(図 2)し、果肉色は黄色(図 1)である。
- 4) 本格的な梅雨の前に収穫を終えるため、糖度は「日川白鳳」に比べて高い(表 1)。
- 5) 果実重は 103g 程度であり、モモの主要品種と比較して小玉である(表 1)。
- 6) 収量は、果実が小さいため、「日川白鳳」に比較し、約 2 割劣る(データ省略)。
- 7) 以上の結果から、「ひめこなつ」は、果実の流通品目の少ない 6 月に収穫できる、良食味のモモ品種として有望である。

### 3. 利用上の留意点

- 1) 栽培面では、花粉があることから人工受粉は不要である。また、一般的な袋かけ期に収穫期となることから、袋かけが不要である。さらに、収穫時期が早いことから、摘果、防除等の作業労力やコストが削減できる。
- 2) 果実の流通品目の少ない 6 月に収穫でき、他の作目との作業労力分散が可能なことから、沿岸島しょ部地域のかんきつ産地や、中北部の農業生産法人、観光農園等の補完作目として適している。

(果樹研究部)

#### 4. 具体的データ

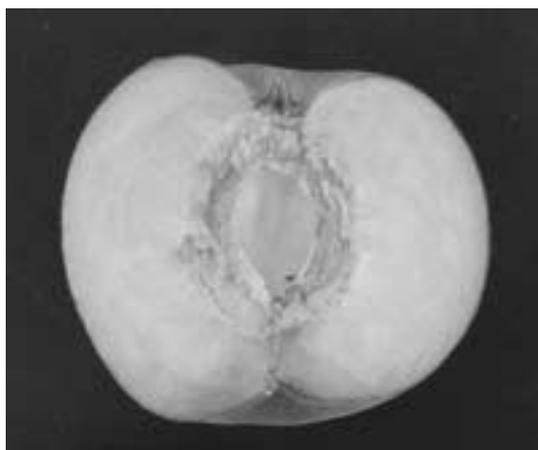


図1 モモ「ひめこなつ」の果実



図2 「ひめこなつ」の着果状況

表1 「ひめこなつ」の特性

	糖度 (° Brix)	酸 (pH)	果実重 (g)	収量 (kg/樹)	花粉 の多少	生理的 落果	核割れ	開花盛期 (月/日)	収穫盛期 (月/日)
ひめこなつ	9.4	4.7	103	28.8	多	無	多	4/10	6/11
日川白鳳	8.7	4.4	257	36.8	多	微	多	4/10	7/6

注) データは東広島市安芸津町における2004年～2006年の平均値。  
 対照品種「日川白鳳」は、県内における早生の中核品種。